

## カリキュラム

本専攻では、両大学から1名ずつの指導教員を配置し、2名の指導教員が連携し、学生が作成する研究計画の内容に鑑み、学生一人ひとりの研究の独自性や研究進捗状況に応じた指導計画を作成し研究指導を行います。標準修業年限3年間であり、在学期間中の1年間(2年次の1年間)は連携大学に滞在して研究を行います。

名古屋工業大学で入学手続を行った学生の場合、1年次は名古屋工業大学で研究を進め、専門的知識を学ぶことで専門的洞察力を深めます。2年次はオーストラリアに渡航し、ウーロンゴン大学の指導教員の下で同大学の強みとする分野を学ぶことで研究内容を補完するとともに、異文化との出会いを通じて国際的俯瞰力を深めます。そして3年次は再び名古屋工業大学に戻り、研究成果をまとめて博士論文を完成させます。

地理的に離れた両大学の指導教員が共同で指導することから、遠隔会議システム等を利用し、学生がどちらの大学に滞在している場合でも両指導教員から指導を受けることができ、また両指導教員が学生の研究進捗状況と能力達成度を共有できる体制を整えます。

学生の能力達成度はルーブリックを用いて評価し、学生は1年次修了までに「最終研究計画審査」を、2年次修了までに「研究中間報告審査」を受審し、両大学の指導教員等で構成される合同論文審査委員会において論文発表を行い、口頭試問、最終試験を受けます。

## 履修スケジュール

	1年次	2年次	3年次	
名古屋工業大学 で出願・入学手続 をする学生	名古屋工業大学 で研究開始	ウーロンゴン大学 に渡航・研究	名古屋工業大学 にて研究継続	ジョイント・ディグリー
ウーロンゴン大学 で出願・入学手続 をする学生	ウーロンゴン大学 で研究開始	名古屋工業大学 に渡航・研究	ウーロンゴン大学 にて研究継続	
	合同入学審査 研究計画立案 最終研究計画審査	研究中間報告審査	合同学位論文審査	

## お問い合わせ先



## 名古屋工業大学 入試課

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町  
TEL 052-735-5083  
FAX 052-735-5084  
E-mail nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp  
URL <http://www.nitech.ac.jp>

国際連携情報学専攻  
(博士後期課程)

## ジョイント・ディグリープログラム

Nagoya Institute of Technology and University of Wollongong  
Joint Degree Doctoral Program in Informatics

## 設置の趣旨

人工知能(AI)、ビッグデータ、IoT等の技術革新により産業構造等に大きな影響を与える第4次産業革命時代に向け、イノベーション創出への取組を世界各国の政府、企業等が行っております。我が国においても、“サイバー空間とフィジカル空間(現実社会)が高度に融合した社会”である「超スマート社会」の世界に先駆けた実現を目指し、各種の取組が推進されているところです。

第4次産業革命に対応し、超スマート社を実現するためには、その中核技術である人工知能(AI)、ビッグデータ、IoT等の情報学分野のイノベーションをリードできる高度な知識・技術を身につけた研究者・技術者の存在が必要不可欠であり、高等教育機関における人材養成への期待は今後さらに増すものと予想されます。

名古屋工業大学は、人工知能(AI)、マルチエージェントシステムを中心とする情報学分野で長年にわたり共同で教育研究活動を展開しているウーロンゴン大学と連携し、両大学の教育研究資源を活用したジョイント・ディグリープログラムによる国際連携専攻を設置することによりその要請に応えます。

### ジョイント・ディグリープログラムとは

日本の大学が外国の大学と連携し、共同で開設した教育課程を修了した学生に対し、共同で単一の学位(ディグリー)を授与する制度です。

## ウーロンゴン大学の概要

ウーロンゴン大学は、オーストラリアのニューサウスウェールズ州ウーロンゴン市にある公立大学で、1951年に創立されました。ビジネス学部、工学・情報科学部、法学・人文学・芸術学部、理学・医学・保健学部、社会科学部の5つの学部を設置し、学生数約3万3千人を誇る総合大学であり、学生の約40%が留学生と非常に国際色豊かな大学です。

また、主要な世界大学ランキングの上位2%以内(218th in the world - QS World University Rankings 2016/2017等)に位置するなど、国際的にも高い評価を受けています。



## 専攻の概要

開設大学	名古屋工業大学、ウーロンゴン大学
課程	博士後期課程(3年)
取得学位	博士(学術)：Doctor of Philosophy ※両大学連名の学位記
入学定員	2名(名古屋工業大学又はウーロンゴン大学で入学手続きを行う学生各1名)
入学時期	ウーロンゴン大学で入学手続きを行う学生：3月 名古屋工業大学で入学手続きを行う学生：4月
開設時期	2018年3月

## 入学要件

本専攻への入学には、名古屋工業大学の入学資格を満たすと同時にウーロンゴン大学の入学資格を満たす必要があります。また、研究指導等において使用する言語は“英語”です。このため欧米の大学院で研究を遂行できるレベルの英語能力が求められます。

※詳細については募集要項でご確認ください。

## 修了要件

原則として本課程に3年以上在学(連携大学での1年の在学を含む。)し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

## 養成する人材像

超スマート社会の実現や、第4次産業革命への貢献を見据え、情報学分野において世界をリードし新規研究分野を開拓できる研究者、国際的な展開を行うIT関連企業を始めとするグローバル企業において新規事業の開拓を先導するグローバルリーダーとしての実践的研究者・技術者を養成し、次に掲げる能力の修得を目指します。

1

国際社会の課題を技術的側面から理解し、産業社会の将来像を展望できる能力

2

情報学分野での深い専門知識と超スマート社会実現に向けた技術に関する幅広い関心・洞察力

3

高い独創性と強い研究推進能力によってイノベーションを牽引する能力